



太陽光発電の下でシャインマスカット、大豆、えごま、マスタードなど多彩に栽培。農場長は高校生・大学生と同世代の若い生産者、かつイケメン。



あだたら食農スクールファームの取組みを見学。農業高校の生徒も多く不耕起栽培を熱心にメモ。



浜通り農産物供給センターの玄米全袋施設を見学。震災以降続く検査を初めて知る大阪の高校生も。

# 大阪と福島の高校生が 福島を見て、考え、伝える

## 第4回 高校生 未来サミット



浪江町浪江小学校の津波被害を残した震災遺構を見学。被害の爪痕をそのまま残し、町民のふるさとへの思いも多数展示されています。



福島大学食農学類棟で記念撮影。高校生の皆さんぜひ福島大学へ！そして農業・食に関わる仕事へ。

9月17日～19日の2泊3日、震災以降の福島を見て、考えて、伝える「第4回高校生未来サミット」が開催されました。福島と大阪の高校生が参加され、福島大学食農学類の大学生と先生方に運営の協力いただきました。

1日目は、玄米の全袋検査場、浪江町浪江小学校の震災遺構、帰還困難区域が残る大熊町を視察しました。震災と原発事故により11年経った今でも被害が続いていること、その中でも復興へ向かう姿を見ていただきました。



2日目の夕飯はグループごとにカレーを自炊。トマトを洗って満面の笑顔。



福島大学食農学類の研究室で先生方から研究内容を特別授業。カフェのような研究室もあり、おしゃべりカッコイイ。



グループワークでは膝の上に置いた「えんたくん」に自由に書きこんで、考えを共有していきます。



「えんたくん」に書き込んだ意見に、なぜそのように考えたの？どうしたらより良い解決があるか？

2日目は土湯温泉の小水力発電、二本松市のアグロエコロジー試験圃場のあだたらスクールファーム、太陽光発電の下でシャインマスカット栽培に取り組み営農型太陽光発電所、福島大学食農学類の教授陣による研究施設視察と盛りだくさんの学び。最終日はグループワークを行い、「未来への提言」を発表する予定でしたが、台風接近のため予定を変更。夜に振り返りと、一人一人の感想を発表しました。福島復興と農業・エネルギーへの展望や、新しい出会いへの感謝、異なる考えを認め合い、より良い未来への提言を共有し合いました。

### 大阪の高校生

様々な場所に連れて行って頂き、ありがとうございます。1番印象に残ったのは最初の日に行った全量全袋検査です。自分はその様な事をしていて全く知らなかったの、周りの人は福島の農林水産物に偏見を持っているけど、やっぱり安全にはちゃんと配慮してるんだと納得しました。また、広報はどの様になっているのかとても気になりました。

### 大阪の高校生

今回参加できて、今までの自分にはない、新しい感情を見つけることができました。ただただ話を聞いて、理解しているつもりではなく、実際に行動してみて、自分の目で見て、自分の中で考えるだけでなく、実際に口に出して仲間と協力する、ということ今回改めて感じました。今回参加してみて、福島の事が本当に好きになりました。とても広い田園、皆が一丸となって「風評被害」や「放射線デマ」といった事実とは異なる意見に真摯に立ち向かい、解決に向かう姿には、感動と共に、尊敬を感じる事が出来ました。たった2泊3日で、どれだけのことを学べるのだろう。けれど、実際に体験してみて、たった2泊3日だけれど、本当に多くの事を学びました。原発のことはもちろん、ソーラーシェアリングなど、これからの農業の未来を支えていく取り組みを知れて、本当に良かったです。

### 福島の高校生

福島から遠い大阪の高校生に福島への印象や大阪のことなど貴重な話を聞くことができました。また、福島大学食農学類の先輩方いろいろな楽しくて貴重な話を聞けてよかったです。新しい友達ができ嬉しかったです。このようなサミットに参加できてよかったし、また来年も参加したいです。

### 福島の高校生

今回のプログラムでは大阪の高校生をはじめとした様々な人と出会うことが出来ました。この偶然繋がった人間関係を大切にしたいと思います。また、この企画に携わっている全ての人が熱を持って参加していると感じました。福島の今と向き合うことが出来た貴重な機会になりました。本当にありがとうございました。最後に農家さんの言っていた、「農業に正解はない」という言葉が印象に残っています。1つのことを正解だと決めつけて、他を排斥しては成長出来ないと思いました。自分の価値観、他人の考え方、生き方を模索することが出来たということで教育的意義も感じました。自分が次の世代に何が出来るかを考えていきたいです。

## 農民連フラッシュ flash

### インボイス制度研修会

令和5年10月1日、消費税の仕入税額控除の方式は適格請求書等保存方式(インボイス制度)になります。中止に向けた運動をしながら、施行に向け備えもなくてはなりません。9月6日福島税務署の職員を講師に単組役員・事務局が参加し、インボイス制度の研修会を行いました。



### 東北農政局交渉

9月7日、仙台市で東北農民間団体連絡協議会主催の東北農政局交渉が行われました。肥料・飼料・燃料・農業資材の高騰に対し、安定供給と農家負担への補填を具体化することなど全9項目について、要請を行いました。



### 福島農民連の電気購入できます!

福島農民連産直農協で発電している電気を「みんな電力」から購入や応援することができます。再生可能エネルギー100%の電気も選択できます。みんなの選択で地球を冷やしましょう。

<https://minden.co.jp/personal/>



二本松発電所